

## 令和3年度 第3回平田地域協議会会議録（要約）

日時	令和3年8月3日（火）午後1時30分～午後3時30分		
場所	ひらたタウンセンター 集会室		
出席委員	12名		
	1号委員	石井 光一 田中井 広志 高橋 宗一 池田 公夫	
		今井 さち子 丸山 清（副会長） 枝 春男	
		加藤 佐和子	
	2号委員	石黒 由香（会長） 佐藤 正一 須田 祐司 古川 麻衣子	
欠席委員	3名		
	1号委員	佐藤 美恵 前田 恵次 長谷部 耕次	
酒田市出席者	市民部まちづくり推進課長	長尾 和浩	
	平田総合支所長	佐藤 まゆみ	
	市民部まちづくり推進課課長補佐	松永 隆	
	平田総合支所長補佐兼建設係長	渡辺 一正	
	平田総合支所長補佐兼地域振興係長	高橋 美津	
	市民部まちづくり推進課地域づくり主査	池田 一穂	
	平田総合支所地域振興係主任	渡部 知也	
	市民部まちづくり推進課地域づくり係主事	讃岐 祐香	
傍聴者	なし		
議事日程	1. 市民憲章唱和		
	2. 開 会		
	3. 会長・支所長あいさつ		
	4. 会議録署名委員の選任		
	5. 協議		
	（1）酒田市過疎地域持続的発展計画（案）について		
	（2）市長報告会に向けた地域課題について（意見交換会）		
	（3）その他		
	6. その他		
	7. 閉 会		

### 【協議会の概要】

酒田市過疎地域持続的発展計画（案）の説明を受けて協議したのちに、平田地域の地域資源と課題について前回出された意見を基にワークショップ形式で意見交換を行い、次回地域協議会に向けて全員で共有した。

また、今年度の地域協議会の年間計画における第4回地域協議会の開催時期を当初予定の令和4年1月から令和3年内に変更することとした。

## 【会議録（要約）】

### 2. 開会

- ▶事務局より開会と委員3名欠席の報告

### 3. あいさつ

#### ○石黒由香会長

本日は新過疎計画について皆さんからご意見を頂き、その後市長報告会に向けた地域課題等について話し合っていた。前回とても多様で前向きなご意見を頂きとても嬉しく思った。平田の良い所も悪いところも一番良く知っているのは私達なので、皆さんから出された「点」の意見を「線」で繋げていって素敵で平田地域にしていけたらと思う。限られた時間を有意義な時間にできるようよろしくお願ひしたい。

#### ○佐藤支所長

本日は新過疎計画の案件があるが、最終案ということでご検討頂きたい。また、市長報告会への地域課題の掘り起こしをお願いしたい。前回に引き続きワークショップ形式で行うが、平田地域の弱みを補い、強みを活かしていけるような地域課題の提案をして頂ければと思う。

### 4. 会議録署名委員の選任

- ▶会議録署名委員は、これまでどおり出席者名簿の順番に指名することとし、高橋宗一委員を指名した。

### 5. 協議

#### (1) 酒田市過疎地域持続的発展計画（案）について

- ▶まちづくり推進課が資料に基づき説明した。

- ▶会長は説明事項に関して質問を諮る。

#### ○枝春男委員

地域おこし協力隊員が各地域に2名ずつ配置されているとのことだが、実際には今、各地域に何名いるのか。

#### ○長尾まちづくり推進課長

平田地域は東陽に1名、八幡地域は日向に1名、松山地域は南部の隊員が6月末で退任されたが新たに1名配置される。飛島にも1名配置されている。地域としては八幡・松山・平田に各2名ずつ置く予定をしている。また、今年度より集落支援員制度を導入しており、平田は田沢地区に配置しているが、集落支援員を置く地区には地域おこし協力隊員を同時期に一緒に置かないという内部のルールがある。地域おこし協力隊員を配置したいという地域もあれば集落支援員制度を活用したいという地域もある。よそから来てくれた隊員が地域おこしを頑張って、引き続き地域に残って定住してくれるということであればありがたいということで、我々まちづくり推進課、支所、そして受け入れてくれる地域のほうで支援をしているという状況である。

#### ○枝春男委員

それはコミュニティ振興会単位で受け入れるということなのか。

#### ○長尾まちづくり推進課長

その通りである。

○枝春男委員

外から来た方が実際にこの地域を見た感じ、新しい考え方、こうやったら住みやすくなるんじゃないか等生まれてからずっとこの平田地域に住んでいる我々では思いつかないような発想があるのではないかと思う。私も協力していきたいし、若しくはそういった地域おこし協力隊が来たいというのであれば、各コミュニティ振興会の方でもぜひ受け入れをお願いしたいと思う。

○長尾まちづくり推進課長

地域おこし協力隊は外から来た、いわゆる「よそ者」の目でその地域を見ると、地元の人にとっては当たり前すぎて魅力に思っていないことでも、すごく魅力のある素材でそれをなんとか活かして地域おこしに結び付けていこうというようなことがある。特に酒田市の場合はミッションを固定して業務のために来てもらうというよりは、地域に来て、地域を見て自由に触れて、良いものを見つけ、その上で自身がやりたいことを2年目3年目でつくりあげていってもらうという受け入れ方をしている。そういった意味では少し変わったことをしていても、「地域の良いところを見て実際にやっているんだな」という温かい目で見て頂き伸ばしていくということで、ぜひ地域の皆様からご協力頂きたいと思う。「コミュニティ振興会単位での受け入れである」とは言ったが、例えば平田地域全体で人材を活用して頂いても結構なので、支所にもご相談のうえで地域おこし協力隊の人と一緒にやりたいということがあればご相談いただければと思う。

○丸山清副会長

飯森山公園と光ヶ丘公園に設置されている屋外遊戯施設を見に行ったことがあるが、修繕にかかる費用が気になっている。平田の中にもピクニックランド等いたる所にすでに使用できなくなってしまった遊具施設がある。テーブルが巻かれた状態で大した説明も無いので、子どもたちが来ていても遊んで良いのかどうかも分からない。マットははがれて風で飛ばされている状況。そういったことに対する修繕関係の考え方というのはどのようになっているのか、教えていただきたい。

○佐藤支所長

眺海の森ピクニックランドの所管はスポーツ振興課である。遊具は市のものもあるが県の遊具も相当あったと思うので、県の遊具については修繕対応か更新をするように要望していかねばならないと思う。市の遊具は交流観光課の施設であるが、すべての遊具を修繕するほどの予算も無く、なかなか回り切れていない状況ではないかと思う。ただ、せっかく子どもたちが遊びに来ているのに、テーブルが巻かれていて遊べない状況は非常に残念だと私も思う。そり滑りにもとても良い施設でもあるが予算面でも、現時点では改修できる状況ではないと所管のスポーツ振興課からお聞きしている。

○丸山清副会長

承知した。

○佐藤正一委員

「ウッドショック」について。木材がなかなか出てこないということで、大変なことになっているようだ。平田には山が豊富にあり、林業に関しても一生懸命にやっている方がいる一方で、遠くから見ると山は荒れ放題のように見える。過疎計画（案）の「産業の振興」の所に「林道の整備」と記載しているが、林、造林、植林というものに関してなんともっと市のほうで力を入れていくべきではないかと思うが、ここに書いている程度のことなのか、それとももっと進んでいるということなのか、お尋ねしたいと思う。

○佐藤支所長

林業に関しては農林水産課が全般的に担っている。今、佐藤委員のお話しにあったように林家は以前に比べて大変少なくなっている状況ではあるが、まだおられる状況ではないかと思っている。山の手入れがなされないことが多方面に渡って災害を引き起こし、様々な関連性をもって環境にも影響を与えて大きな問題になっているので、山の手入れが大変重要であるということは承知している。また、資源の有効活用という面での一つの例として、アイアイ温泉の燃料に木材のチップを使用してきたが、単価が高騰し、継続していくことが非常に困難である状況にあるとのこと。脱炭素社会のなかで、石油とそれ以外の選択肢を考えた際に豊富にある山の資源、木材を木炭に利用したりできないかと模索しているところでもあるということ少し伺っていた。林家の育成や森林の整

備、伐採・主伐等木々を守っていくためにはいろいろ考えられるものの、こちらでは詳しく承知していない。

○佐藤正一委員

7月23日付けの荘内日報に山楯の悠々の杜のアイアイひらたに「送迎バス付キャンプ場」の提言について掲載されていた。東北公益文科大学の観光ボランティアサークル「酒田おもてなし隊」の方々が4月から現地を訪問して実証してきたとのことだった。悠々の杜推進協議会の会員たちが年間を通じて下刈りなどをしており、自然学習の場や憩いの場として保全されているとのことだが、「送迎バス付キャンプ場」としてもっと楽しい所にできなかと学生たちが考えた内容だった。山楯のアイアイのところは市内からもそう遠くないということもあって大学の学生たちも視察に来ていたのか、いろんな売込みをしているようだ。市（支所）のほうでも承知していると思うが、具体的な内容についての進捗状況をお尋ねしたい。

○佐藤支所長

ひらた悠々の杜株式会社の社長が代わったことにより、ひらた悠々の杜推進協議会の会長も代わったものである。平田町時代にアイアイ温泉を整備したときに、周辺一帯を歴史の杜公園として整備していくという構想があったが、合併後はなかなかそこに手が入らなかった。そういったことで、里山の会さんがボランティアという形で草刈り等を行い、山の中の環境を活かした子供たちへの学習の場の提供を毎年進めているようだ。大変良い活動だと私も思っているところである。送迎バス付キャンプ場の件は、市の観光戦略のひとつとしてやっていこうということで、交流観光課で悠々の杜株式会社を拠点として行っている。悠々の杜推進協議会もキャンプの構想があるようで、交流観光課が関わっていて、総合支所が直接関わっているものではないが、市の観光戦略のなかでいろいろ取り組まれていくとお聞きしている。

▶質疑終了に伴い、まちづくり推進課職員は会場を退席する。

(2) 市長報告会に向けた地域課題について（意見交換会）

▶出席委員が3グループに分かれて、前回の平田地域の地域資源と課題についてのまとめをもとに推し進めたい内容について意見交換を行い、最後に班ごとに発表した。

《主な内容》

A班：

●民俗芸能の存続が危うい。どうしても地元の人にやってほしい、地元の人でなければならないという拘りのある意見を言う人がいるとのことだが、トップに立つ人の裁量で、そういう意見を無くすることもできるのではないかということ。また、今はできる人がいなくても教本としての映像を残しておけば、復活した時にその映像を使って復元できるのではないか。

●十二滝もジオサイトの認定を受けているということを前面に出してみてもどうか。

●子どもが少なくなっているので婚活イベントをして他県から人を呼び、平田の良さを男性からも女性からも知ってもらい、人口を増やしたらどうか。

B班：

●他の地域から人を呼んで、平田の良い所を体験して帰ってもらう。いきなりここに住んで家を建ててくれる人はそう簡単にはないので、まずは体験的に他の市町村から人を呼ぶ。道路も広くアクセスも近いので、バスツアーもいいだろう。スタンプラリー式にちょっとつまみ食いの試食コーナーを設けるのも良いのではないか。トレッキングコースを作ってヨット・カヌー体験やアイアイ周辺を活用した、キャンプや各種イベントでの野菜づくり、またその野菜を使った料理でも。そのためには地元の人々の協力がまずは第一であり、自治会長さん、コミュニティ振興会の会長さん、それから地域の行政の地域振興の担当の方、そして他から協力してもらえる若者、高校生なり大学生なり中学生なり。そしてそれを束ねるためのプロデュースする人が必要。まずその人材を探せば、今やりたいような足掛かりの打ち合わせができるのではないか。旧阿部家で地域の冷酒を飲みながら民俗芸能や落語にふれたり、そういった企画もプロデュースする人材を育

てたうえで打ち合わせをすれば可能なのではないだろうか。

●人を呼んで日帰りで帰さずに泊らせるためには、もっと生涯学習センターの宿泊施設を利用しやすくする必要がある。今のままでは他の地域から人を呼んで自然の中に泊まって喜んで帰ってもらえるような環境にない。これに関しては教育委員会の所管よりも、商業施設関係の側につけたほうが自由にできるのではないか。

C班：

●自然のポイント、文化財やブロンズ像の紹介、神社・寺院などを紹介したウォーキングマップを作って町内を散策してもらってはどうか。先日、市内のグループがこの周辺をまわっていたという話もあり、きちんとした形をこちらでとっていただければもっと楽しんでいただくことができたのではないか。

●平田地域内にある企業ツアーを何社か組み合わせてプロデュースし、1日で回れるツアーなどを企画したら良いのではないか。

●ひらた生涯学習センターを中心に周辺（十二滝、胎蔵山、経ヶ蔵山など）で宿泊を伴ったトレッキングをしたらどうか。とても一日では回り切れないので、存分に平田を楽しんでもらうためにひらた生涯学習センターをもっと利用しやすくして、宿泊を伴って楽しんでもらったほうがよい。

### (3) その他

○高橋支所長補佐

今年度の地域協議会の年間計画について、第1回地域協議会の際に第4回地域協議会の開催時期を令和4年1月頃として承認頂いたが、第3回と第4回の期間が長く空いてしまうため、令和3年中に変更することを提案したい。

▶会長は承認の可否を求め、承認された。

○須田祐司委員

地域協議会の開催場所は可能であれば、椅子に座れる場所で開催してほしい。

○佐藤支所長

コロナ対策上、広い会議室で開催しなければならず、集会室で開催しているが、次回は椅子に座れるひらた生涯学習センターかシアターOZ、ワクチン接種の進み具合によっては農村センターで開催するようにしたい。なお、次回は11月位を目途に開催したい。

## 7. 閉 会

○丸山清副会長

活発にご審議頂き、ありがとうございます。過疎地域の内容についても詳しく説明頂いた。また、グループごとの話し合いについても共通する意見がたくさん出され、方向性としては今後の楽しい方向に進みそうな予感がしている。次回もよろしくお願ひしたい。今日はお疲れさまでした。